

## 情報公開文書

研究の名称	令和6年能登半島地震発生時における富山県内小児1型糖尿病患者の被災状況に関するアンケート
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 小児科学 教授 今井千速
研究の概要	<p><b>【研究対象者】</b> 対象は2024年1月1日時点で富山県内に在住し、小児1型糖尿病に罹患している患者様および患者様の家族とします。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b> 小児1型糖尿病は発症10万人・年あたり2~3人ほど発症する疾患であり、富山県内にはおよそ50名程度の小児1型糖尿病患者様がいます。1型糖尿病は毎日の血糖測定・インスリン皮下注射治療が必要であり、大規模災害発生時には血糖測定物品やインスリンの不足が生じる可能性があります。例えば東日本大震災の際には約半数の患者様が必要物品やインスリン不足により困った経験があったと報告されました。2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震では富山県内でも最大震度5強を観測し、多くの患者様が被災しました。また元日に発生した震災であり、普段と異なる状況・環境で被災したことが想像されます。今回私たちは富山県内小児1型糖尿病患者様を対象に、令和6年能登半島地震発生時における被災状況についてアンケートを行い、大規模災害発生時の県内小児1型糖尿病診療の問題点を明らかにし、改善すべき課題を検討します。</p> <p><b>【研究の方法】</b> 対象となる方にアンケートを行います。</p> <p><b>【研究期間】</b> 実施許可日 ~ 2025年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b> 本研究は匿名でのアンケートであり、患者様各々について独立して研究発表はなされません。データ自体はすでに患者様自身をご存知の内容であるので、日常診療で直接患者様に成果が報告されることは少ないです。しかし、全体としてまとめられた成果は学会等において発表されることにより公表され、主に富山県内での診療体制の強化が期待され、患者様に還元されることとなります。また富山県で毎年行われる富山糖尿病サマーキャンプで研究成果を公表する予定としています。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	調査票のみを用いた観察研究です。主要評価項目として令和6年能登半島地震発生時における富山県内在住の小児1型糖尿病患者の被災状況に関する事項の抽出を行います。副次的評価項目として震災発生超急性期とその後の期間に経験した困難さの抽出、災害にむけた事前準備の有無・内容、医療資源活用の有無に関する事項の評価を行います。県内全域の患者さんを対象にするため、回答者は富山大学附属病院以外に通院する患者様も含まれますが、アンケートの結果は富山大学でのみ取り扱われます。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究機関：国立大学法人富山大学 施設責任者：富山大学長 齋藤 滋
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。

試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	小児科学 教授 今井千速
研究対象者，親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出，研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします． 電話 076-434-7313 （小児科医局） FAX 076-434-5029 （小児科医局） E-mail sterashi@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系小児科学 大学院医員 寺下新太郎